

症例から学ぶ血友病と von Willebrand 病

血友病と von Willebrand 病は代表的な出血性疾患であり、病名としてはよく知られています。しかし、実際は比較的まれな疾患であり、コンスタントに症例を経験できる施設は多くないと予想されます。

一方、これらの疾患は、診断に際して臨床検査が重要な役割を果たす疾患でもあります。そのため、検査の担当者はこれらの疾患について、ある程度理解しておくことが求められます。

そこで、症例の提示による疑似体験を通して、これらの疾患の特徴や検査のポイントを知っていただくことを目的として、本特集を企画しました。血友病や von Willebrand 病の経験がほとんどない施設もあると考えられますが、本特集を通じてこれらの疾患に対する知識・理解を深めていただくことを期待しています。そして、これらの疾患に遭遇した際は、当該患者さんの診断に際して、臨床検査がより大きな貢献ができるよう努めていただきたいと願う次第です。

佐藤尚武(順天堂東京江東高齢者医療センター臨床検査科)